

静岡県地学会のあゆみ(100)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-03-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00024758

静岡県地学会のあゆみ (100)

西部支部活動：9月26-27日，西部支部運営委員会を実施し，静岡地学100号に掲載するGEO DATAの編集を行った。4月4日，「自然系博物館における展示方法と工夫」と題した見学会を実施し，豊橋市自然史博物館および生命の海科学館を訪問（参加者：4名，案内者：豊橋市自然史博物館副館長松岡氏・生命の海科学館学芸員山中氏）。4月18日，西部支部運営委員会を実施し，2010年度の活動について協議した。

中部支部活動：9月23日，中部支部運営委員会を実施し，静岡地学100号に掲載するGEO DATAの編集を行った。9月26日，GEO DATA調査（笹山構造線）を実施（参加者6名）。11月14-15日，赤石山地質巡検会を実施（案内者：狩野会長，参加者6名）。1月16日，中部支部運営委員会を実施し，2010年度の組織・活動について協議した。2月11日，「瀬戸川層群中のノジュール調査と河岸段丘礫」と題した巡検会を実施（参加者：9名，案内者：株織戸組河合氏・松本会員）。

東部支部活動：11月3日，東部支部運営委員会を実施し，今回の総会の特別講演および巡検会について話し合った。3月22日，「西伊豆・仁科層群の枕状溶岩観察と湯ヶ島層・化石採集」と題した巡検会を実施（参加者：65名，案内者：神奈川県立生命の星・地球博物館外来研究員門田氏）。3月末～4月，東部支部運営委員会をメールにて実施し，巡検会の反省，第166回運営委員会，次の巡検会，巡検報告の投稿について協議した。

会誌第100号の発行：11月23日，「静岡地学」第100号を発行。「静岡地学」100号記念特集5編，研究・報告3編，活動報告1編，その他静岡大学通信（16），静岡県地学会会則，「静岡県地学会」投稿規定，地学会のあゆみ（99）を収録（96p）。

第46回年会：11月23日，浜松科学館で開催。増島 淳会員，加茂豊策会員，遠藤一明会員，久保田実会員の研究発表および木村 学博士（東京大学大学院・教授）の特別講演「超深度掘削が拓く海溝型巨大地震の新しい描像」を実施（参加者36名）。

第165回運営委員会：11月23日，浜松科学館で開催。（1）支部活動報告：詳細は各支部活動を参照。（2）第46回総会：期日は2010年6月20日とし，会場は静岡大学理学部B202で行うことにした。記念講演は静岡大学理学部の道林克禎会員とした。（3）その他：GEO DATAを今後も「静岡地学」に継続して掲載することにした。掲載数については次の運営委員会で協議することにした。（出席委員：狩野・和田・道林・生形・楠・増島・斉藤俊・斉藤朗・松本・加藤・今村）

第166回運営委員会：4月24日，静岡県自然学習センターで開催した。（1）各支部の年会以降の支部活動報告がされた（詳細は上述の支部活動を参照）。（2）会計委員から2009年度の決算および2010年度の予算案が報告され，了承された（奥付参照）。（3）2009年度の会員動向について報告され，了承された（会員数，197名；入会者，1名；退会者，17名）。（4）第47回総会について協議し，6月20日（日）13時から静岡大学理学部B202で行うことにした。講師は，道林克禎会員（静岡大学）とし，蛇紋岩に関する講演をして頂くことでも了承された。（5）「静岡地学」の残部が多いことから，発行部数を350部から250部に減らすことにした（6）国際地学オリンピック日本代表として出場する磐田南高校の生徒の記事を「静岡地学」101号に掲載することにした。掲載者は磐田南の指導教員に依頼する

ことで了承された。表彰状の授与については次回運営委員会で審議することになった。(7) 今後継続して「静岡地学」にGEO DATAを掲載するにあたり、各支部のストック数の報告があった。各支部とも特定のテーマに関するデータは多数あることが確認された。各支部のGEO DATAの掲載頻度について協議した結果、年1回ないし2回とした。(8) その他、庶務委員より国土交通省から「静岡地学」の転写許可の依頼がきているとの報告があった。転写内容が著作権上、問題ないことから異議なく了承された。(出席委員：道林・楠・島田・生形・増島・斉藤俊・久保田・加藤)